

平成28年 第11回大田市教育委員会定例会

日 時 平成28年11月25日（金）午後2時

場 所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 前回の会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題

議第24号 平成27年度教育委員会の事務に関する点検・評価について（総務課）

議第25号 大田市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について（石見银山課）

5. その他

○報告

- ・平成28年度12月補正予算（教育委員会関係）について（関係課）
- ・大田市内県立高等学校支援連携協議会の開催状況について（総務課）
- ・温泉津会館の指定管理者の指定について（社会教育課）
- ・教育委員・校長・公民館長合同研修・意見交換会の開催について（教育長）

6. 閉 会

## 平成28年第11回大田市教育委員会定例会会議録

平成28年11月25日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第11回大田市教育委員会定例会を開催した。

### 1. 開会及び閉会

開 会 平成28年11月25日 午後2時00分

閉 会 平成28年11月25日 午後3時50分

### 2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

### 3. 欠席委員の氏名

なし

### 4. 傍聴人

なし

### 5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川崎総務課長 橘学校教育室長 川島社会教育課長

藤井社会教育係長 渡邊学校給食センター長 西村山村留学センター長

遠藤石見银山課長 後藤人権推進課長 岩谷男女共同参画係長

木村総務管理係長

## 6. 開 会

### 大國教育長開会を告げ開会

#### (1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。

福岡委員 すみません。6頁の私の発言の「それに対しての持って行き方とかこういう取り組みをしている」とあるのを、主語がありませんので、後半を「学校側がこういう取り組みをしている」としてください。それと、7頁の一行目、「みえてきているが」の次の、「本来のものが」とあるのを「自らが取り組んでいく家庭学習など習慣付けが」としてください。

梅枝委員 私もお願いします。8頁の下から7行目、「一緒に読む」を「親子一緒に読む」、「親が何かを広げている隣で」を「親が何かを読んでいる隣で」と訂正してください。

教 育 長 他にありませんか。

竹下委員 私もですが、9頁の私の発言の中で、引用しているものは括弧書きでお願いします。

教 育 長 それでは、先程の部分を訂正のうえ承認するものとしてよろしいでしょうか。

委 員 はい。

教 育 長 ありがとうございます。

#### (2) 教育長の報告について

教 育 長 では、経過報告に入ります。先月の定例教育委員会は10月27日に開催しました。その後について報告したいと思います。一部事務局の方でも追加をしていただきたいと思います。28日、既に新聞紙面で報道されているので、ご承知かと思いますが、山陰中央新報の地域開発賞授賞式がありました。今年度は、大田市水上町の原敏夫さんが受賞されました。シッカク踊り、花田植え、宮座饗膳式、また水上の郷土誌の本を作られるなど、多分野な文化面で功績があったということで、市の方では教育委員会の社会教育課から、島根県の市町村教育委員会連合会を通じて推薦をしました。3名候補者がありましたが、その中から原敏夫さんが選ばれ、山陰中央新報の地域開発賞の文化賞を受賞されました。その後地元でもお祝いをするということで地元での祝賀の催し物もあったということです。2

9日大田市防災訓練、今回は大田小学校で防災訓練を実施しています。21日に倉吉方面で地震があったこともあり、かなり実践的な内容で、また参加された大田町民の皆さんも実践的な訓練ということで取り組んでいただいたと思っております。続いて11月です。1日、三瓶の小豆原埋没林検討委員会が島根県の方の主催でもたれています。ご承知のとおりですが、小豆原埋没林は地面の下で地下に繋がっているという関係で、地下水の影響を受けています。地下水の影響を受けつつ、腐らないようにどのようにして水分との遮断をするのか、一方で遮断しすぎると乾きすぎて崩れていくという技術的な問題を、技術的な専門家の先生方を交えて検討委員会が継続して行われています。現時点ではまだ最終的な方法については確定していませんが、人工甘味料のトレハロースを樹木に含浸をさせて水分と置き換えるという、砂糖漬けにするということになります。そういった技術でどうかということで行っているところです。以前にありましたが、ポリエチレングリコールという有機物質を人工的に置き換えていましたが、水に溶けて地下水に有機物が流れ出てしまいそれは良くないということで、試行錯誤してトレハロースで置き換えるということで検討が進んでいます。その他埋没林について、直立しているものもあるので、地震などによる倒壊予防のためのワイヤーをつけるなど様々な事が行われ、この後ずっと保存していくための検討委員会が開催されています。これまでは副市長が担当でしたが前々回から天然記念物ということで教育委員会の方から私が会議に出席しています。同日、大田西中学校のPTAから、学校の野球部の活動する校庭であったり、テニスコートであったり、施設整備に関する要望が出されています。2日、町並み保存の全国組織であります全国伝統的建造物群保存地区協議会の役員会が東京で行われ、市長代理で石見銀山課長が出ておりますので後程口頭で補足していただきたいと思っております。3日、4日は大田市の文化祭でした。3日の文化祭の開会式の後、岩谷時子のメモリアルプレート除幕式が行われました。4日、5日世界遺産学習の全国協議会、現在26の自治体と学校が加盟していますが、全国協議会の総会と翌日の全国サミットが平泉町で行われています。私と石見銀山課の担当者、今回大田三中が発表校ということで、大田三中の担当の先生と校長先生に参加していただきました。全体で400人くらいの規模でしょうか。これも来年大田市でのサミットを予定して

いますので、具体的なことについては後程お知らせをしたいと思います。7日、学力向上支援員研修会がありました。同日それに合わせて教育委員会でも、教育委員の大田小学校の訪問ということで皆さん方にご参加いただきました。後程、感想等あればお伝えいただきたいと思います。7日、8日、10日の朝までですがユネスコのESDに関するユネスコ本部のシンポジウムということで、これは基本的に非公開のシンポジウムでしたが、報道されたように大森小学校の訪問や大森町にお住まいの方との意見交換会など、部分的に公開されています。仲野委員さんにもご挨拶に出させていただきましたし、私も挨拶とレセプションのみですが参加させていただきました。まさに持続可能な地域社会のモデルになるのではないかと、ユネスコ本部の方で注目をしていただいているということでした。10日、市の連合音楽会が校長会の主催で開催されました。委員の皆さんも入れ替わりしながらご参加、鑑賞いただいたと思います。感想等あれば、後程伺いたいと思います。11日、石見地区中学卓球大会が市の総合体育館で行われ、挨拶にお邪魔いたしました。石見地区の中学卓球大会、現在は大田と江津でないと大会が開けない、西ではなかなか卓球部がないということで、大田と江津で隔年開催の形になっています。13日、租税関係合同表彰式ということで、作文、習字、絵はがき、標語などたくさんの租税に関する作品を作っていただいていますので、その合同表彰式が大田の商工会館で行われました。14日、石見銀山遺跡の世界遺産登録に関連する文献調査団の団長を務めていただいて、また、創作能の「石見銀山」をつくっていただき、最後は金沢の歴史博物館の館長でした、脇田晴子先生がお亡くなりになり、お別れの会がありましたので、市長代理で出席させていただきました。16日、劇団四季の吉田社長、市長の表敬ということで、市長が留守でありましたので、青木副市長と私とで表敬訪問を受けました。吉田社長さんはお父さんとお母さんが大田市のご出身ということで高校くらいまでは大田市に夏休みの度に遊びに来ておられたそうです。半分大田市出身の方と言っても良いのではないかと思います。そういった方でありまして、20日の劇団四季の公演の前にゆかりの地ということでご挨拶においでになりました。17日、全国史跡整備市町村協議会の臨時大会で予算要望がありました。これは教育部長が市長代理で行っていますので、後程ご報告いただきたいと思います。18日、県の技術・家庭科の

研究大会が大田二中で開催されています。技術については大田二中の生徒が大田二中で授業をしましたが、家庭科については大田二中に家庭科の専科の教員がいませんので、大田西中学校の生徒と先生が大田二中にそのまま移動して、二中の教室を借りて家庭科の授業を行いました。その後については、後程ご意見等あれば伺いたいと思います。19日、20日山村留学センターの収穫祭です。これもご参加いただいた方もあるかと思います。ありがとうございました。21日市公連の定例会がありまして、来年の世界遺産学習のサミットなどについて、あるいはこの後出てきますが12月の研修会、教育委員、学校長、公民館長の研修会について説明をしてみました。同日教育ビジョンの検討委員会で教育委員の皆さんご出席いただきましてありがとうございました。23日しまね映画塾の発表会ということで、今年は雲南市を会場にして開催されておりまして、これまでも市民会館、文化協会、教育委員会で参加していますので作品を見せていただきました。今年は12月29日の夕方と深夜に、山陰中央テレビ放送で全作品が上映されます。そして本日25日、定例教育委員会と、教育委員会の後、魅力化のコーディネーター4名勤務していますが、閉会後に意見交換の時間を少しもうけさせていただきたいと思います。以上です。では、補足をいくつかいただきたいと思います。まず全国伝統的建造物群保存地区協議会の役員会についてお願いします。

遠藤課長 大田市長が全国伝統的建造物群保存地区協議会の理事という役職を務めている関係上、代理で出席して参りました。この日の午後には、国の来年度予算編成の時期であることから、要望活動があり、1日参加して参りました。役員会の中では、全国的に選定地区が増えている中でなかなか国の予算確保ができないということ、一方で伝建地区が地域づくり、まちづくりの核になって、着実に大きな成果を上げているということが、昨今の状況として報告や意見がありました。一方で最近の防災対策ということで、今年の鳥取中部地震の被害報告と、それに併せて木造建造物は脆弱なものですが、そういったところに対する支援を今後どうしていくかということについても、意見交換がありました。午後のところは財務省を中心に要望活動で回ってきたところですので。以上です。

教育長 続いて全国史跡整備市町村協議会について、部長さんお願いします。  
田中部長 全国史跡整備市町村協議会は17日午前8時半からの会議という

ことで、その日の午後4時まで様々なスケジュールが入っていました。この協議会は、史跡を有してなおかつ整備計画を持っている市町村が予算の獲得のために、臨時大会1時間を開催し、中央省庁あるいは県選出国會議員、そういったところに一斉陳情しようという趣旨のもと行っています。協議会全体としては、整備事業、調査事業、史跡として公有地化する公有地としての買上げ、この3つが三本柱になっていまして、全国的には予算規模が260億円くらいで、平成29年度満額回答を得るべく陳情したということです。個別には、大田市は石見銀山を中心としていますけれども、整備、調査、公有地買上げ、建造物も入れて、来年度予算1億1千万円という想定の中で陳情させていただきました。県選出は竹下先生、細田先生、青木先生、島田先生、秘書の大田市出身の波多野さん、公明党の斎藤先生に陳情しました。午後は文化庁記念美術館から、熊本城の震災復興の状況について報告がありました。石垣の25%から30%が崩落しているという状態で、石垣ばかりではなかったのですが、石垣を中心として、当面暫定的に対応しておいて、その上で順番に改修をしていくということです。とりあえず崩れた状態のものからはほぼ全体が復旧していて、その上で個々に対応していくということで、なかなか大変な事業だとお聞きしたところです。以上です。

教 育 長 何かご質問等ありますか。

委 員 (なし)

教 育 長 委員の皆さんにも出席いただいたものもありますので、特に何か特徴的なものがあれば、ご意見や感想をお願いします。暦の順番にいきます。7日の学力向上支援員研修で、現地でも感想を言っただけでしたが、その上で伝えておきたいことなどがあればお願いします。橘室長さん、研修会では何か授業について意見がありましたか。

橘 室 長 支援員さんについては、子どもたちとの関わりについては、だいぶ時間がたっているので慣れていらっしやいました。関わり方としては見ていただいた授業でも多かったのですが、子どもの個別への支援、学級全体が落ち着いた雰囲気になるように、学習環境的な支援というような位置づけが見られがちかなと思います。市教委で願っているイメージ象としては、アクティブラーニングを見据えたグループ学習やペア学習で、子どもたち同士が学ぶときに支援をしてもらおうといいですねという話をして、研修会は終わりました。今後

はグループ学習への支援をどうすれば良いかというところになるのではないかと思います。

教育長 その他、どなたかお願いします。

竹下委員 私は学力向上の方を見せていただきまして、支援員さんが最少で担任と合わせて2人、特別支援などの先生も含めたら1クラスに最大5名までの人員が配置されるという、かなり手厚い状況が出来ているなと思いました。中でも印象に残ったのは、中学年でかなり荒れていた学級が、授業改善やICTの投影機を利用して、T1、T2の形プラス支援員という授業を見せていただきました。非常に落ち着いていて、アクティブラーニングの効果が現れているなと感じました。

梅枝委員 印象として、人が複数いらっしゃるということが、こんなに効果があるのかと感じ、とても良いことだと思いました。反面、後で校長先生に伺った時に、教員の資格や経験は問わない条件で支援員さんを募集しているということで、専門的な事がわからないまま関わるとするのは、難しい所もあると思います。研修もかなり必要になってくるのではないのでしょうか。その研修がつまれたら効果は絶大なものが出てくるのではないかと思います。

教育長 ありがとうございます。

福間委員 小学校は学級担任制の問題ですごく手厚いことができますが、これを中学校に置き換えた時に、教科担任になった時の入り方や関わり方を中学校でするとなるとどうなるのかと、そのような目で見せていただきました。

教育長 今中学校では行われていますか。

橘室長 行われていません。

教育長 特別支援の支援員は付けていますよね。

橘室長 はい。わずかですが付けています。

福間委員 全国の学力テストの問題で、中学校はなかなか効果が出てこないということから考えると、そのような手立てをしていかなければならないと思いますが、入るときには大変な手立てをしていかなければいけないと思います。

教育長 現実的に一番役に立ったのは、丸付けで応援してもらえることだと聞きました。たしかに丸付けについては、時間が節約できて役に立っていると思いました。

梶委員 実物投影機で子どもが発表する時の補助をしておられる方が、非



常にうまく子どもの意見を引き出すやり方がありましたが、そういうのを研修で見るとということが、支援員さんたちに非常に役立っているのではないかと思いました。

教育長 ありがとうございます。次に10日の市の連合音楽会について梅枝委員さん行かれたので何かありませんか。

梅枝委員 個人的な感想でもありますが小さい学校ほど感動が大きいというか、学校一丸となって練習をされたのだなというのが、全く知らない子どもでも伝わってきて、いい時間を過ごさせてもらいました。先生方は大変だと思うのですが、発表の場があるということは子どもの励みにもなると思いますし、聞いた者も感動できるので今後も続いていけば良いなと思いました。ありがとうございました。

教育長 次に18日技術・家庭科の研究大会についてです。仲野委員さんお願いします。

仲野委員 私は授業も見学しました。技術の方は、来年入学する1年生に二中を紹介するというので、パワーポイントを使って子どもたちがグループごとに、紹介のプレゼンテーションの資料を作るという内容でした。作るということと合わせて、肖像権や著作権などの重要性が、資料をつくっていく上での制限になるということも合わせて勉強するという内容でした。家庭科の方は大田西中の保育園訪問での、子どもとの接し方ということで、後の研究協議のところにもありましたが、遊ぶ道具に関心がいき、子どもとの接し方というのがどうだったのだろうかというのが問題になっていました。全体として我々が習った頃の技術・家庭科と全く違って、コンピューターや保育など新しいところの授業も見学しましたので、すごく驚きました。一方で技術・家庭科の先生が少ないということも問題になっています。技術・家庭科はこれからの社会の中で特に重要ではないかと感じました。2年生の終わりごろのESDが技術・家庭科の中に単元としてあったので、大田市教育委員会でもそうですが、市全体でESDを推進しておられるので、その辺りとうまく連携をとれば学校でいろいろなことが出来そうだという印象を持ちました。

教育長 ありがとうございます。次に山村留学センター収穫祭について補足があればお願いします。

山村センター長 2日間あり、最初の日には個人体験発表や全体での発表がありました。初日は雨が降ったりして肌寒い天気でしたが、試行錯誤し、パワーポイントなどを使ったりした個人体験発表をして大変好評でし

た。地域おこし協力隊の西嶋さんが、裏方で指導員と子どもたちとディスカッションしながら進めており、限られた時間でしたが一回目とすれば成功だと考えています。ただ子どもたちも継続生と新入園生がいますので、初めてやる事が個人体験発表でどのようなものかわからない、わかった時には本番を迎えているということもあったので個人の差はあったにしても、全体として見れば成功だったと考えています。2日目は保護者が中心となってバザーや露店をしました。これも地域の方等もたくさん来ていただいて、成功に終わったと思っています。何より保護者やOB、OBの保護者の方がいろいろなところから来てくださいました。私の知らない一期生、二期生の保護者の方も来ていただいていたので、そういったところを見ると着実に成果は上がっているのかなと感じています。以上です。

教育長 以上で経過報告は終わります。

### (3) 議題

教育長 それでは、議題に入ります。議第24号平成27年度教育委員会の事務に関する点検評価について、総務課からお願いします。

川崎課長 それでは議第24号、平成27年度教育委員会の事務に関する点検・評価についてご説明いたします。点検・評価については、別添のとおりとするとしておりまして、お手元の冊子をご覧ください。内容につきましては、9月の定例教育委員会でご確認いただいたところですが、その時に仲野委員さんからご指摘をいただきました、5ページの学校訪問につきまして、世界遺産登録記念給食のときの訪問校を加えて、訂正しております。当初は北三瓶中学校、大田高校の2校があがっていましたが、川合小、鳥井小、志学小、志学中学校、この4校を追加しています。なお、10月7日の金曜日には3人の外部評価者の方に、高山公民館と久屋小学校を視察していただき、給食を食べた後、午後から市役所でこの資料をもとにそれぞれの所属長から内容の報告をさせていただきました。それぞれ、外部評価者の方から意見をいただいたものを23頁から30頁に載せております。視察先の高山公民館、久屋小学校ともその取り組みについては高く評価をいただいたと考えております。また、各課の取り組みにつきましても、新たな取り組みも含め、概ね熱心に取り組んでいるとの評価をいただいたところです。外部評価者の方の個々のご意見につきましては、ここでの説明は割愛をさせていただきます。

す。お読み取りいただければと思います。点検・評価については以上です。

教育長 質問等ありますか。

竹下委員 評価者の意見に関わるのですが、23頁の現地視察で①高山公民館で館長より高山みらいの会を中心に説明を受けたとありますが、前半の部分で高山みらいの会の説明がないような気がします。高山みらいの会というのはこういった活動をしているとか、どこかに説明があった方が良いのではないかと思います。同様のことで30頁の石見銀山課の所で、大森小学校児童のガイドの体験などありますが、これも概要的な事の説明があれば良いと思います。

教育長 外部評価委員さんの原稿ですので本文の下に注で付けさせていただきます。

竹下委員 26頁の久屋小学校の所で、学力向上への取組も具体的な目標を掲げて実施されていたという内容などがあったのですが、必要かどうかわかりませんがそれも関連として、どういった目標だったかなどを説明した方が良いと思います。特に久屋小学校の取組については非常に評価されているので参考になるのではないかと感じました。

教育長 ありがとうございます。補足が必要であれば補足もしくは外部評価委員さんと相談しておきたいと思います。その他はよろしいですか。ではただいまの所を修正するというので、これをもって全体として承認するというのでよろしいですか。

委員 はい。

教育長 ありがとうございます。なおこれで確定致しましたら12月の市議会の方に報告するという事になるかと思いますが、よろしくお願いします。続きまして議第25号大田市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について石見銀山課からお願いします。

遠藤課長 議第25号大田市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について説明します。大田市伝統的建造物群保存地区保存条例第15条で保存審議会を規定しています。3項をみていただきますと審議会委員定数は17人以内とし、学識経験者、関係行政機関の職員、関係地域を代表する者等のうちから、教育委員会が委嘱することとしています。現在、審議委員につきましては下表に掲げていますが、全体で11名という人数で構成していました。平成28年6月30日までで任期が切れており、新任期については異動により1名空席となっていました。今回地元温泉津地区の方が1名空席ということ

で、まちづくりセンターや支所などに相談をした結果、名簿の11番になります、山下真知枝さん、住所は温泉津町、区分は地元代表者、お勤めは大田市観光協会に勤務になりますが、委嘱したいと考えております。山下さんについてご紹介を申し上げますと、平成7年から温泉津町のゆうゆう館で、合併前から勤務されている方です。現在は大田市観光協会の職員として、ゆうゆう館で特に観光客を相手に案内等をされています。地元の様子にも詳しく情報提供をされています。また個人としては、昨年から温泉津街なみ環境整備委員会という地元組織にも属しながら、温泉津の町中の街路灯の件、あるいは舗装のデザインなどについても、地元の委員の一人として様々な意見を出しながら作り上げておられます。この度空席となっておりました1名については、山下真知枝さんに委嘱したいということをお願いしたいと思います。以上です。

教育長 質問等ありますか。

これは年に何回くらい開催で、主な審議事項は具体的にどのようなものですか。

遠藤課長 基本的には年2回は必ず行おうと考えています。1回は前年度の事業報告です。専門の先生方が多く経過の中で指導いただいていますので、前年度の事業報告、主に国や県の補助を得て修理を行っていますので伝統的な建造物、小規模ではありますが保存地区の景観に合わせる修景事業も行っています。もう1回は次年度に、あるいは当該年度の計画も含めて、これから整備、保存修理を行う建造物の修理方法・方針等について審議いただくということで大きく年2回行っています。必要があれば3回開催しています。

教育長 関連して、温泉津の整備事業は進んでいますか。

遠藤課長 温泉津の町並み保存地区ですが、建造物の修理とともに、街なみ環境整備事業が今年で3年目になります。いろいろな要因があるのですが、温泉津の町並みは災害に弱い所です。昨年もありましたが一度大雨になると床上、床下浸水などが起き、雨水対策をどうしていくのかということ、従来整備されていなかった下水道の問題、町並みを火災から守るための防災施設、消火栓消化管の整備があります。地下に道路を掘り雨水の管を入れ、下水管を新たに置き、飲用水の上水道を利用した消火栓、消化管を整備しています。管の大きさを大きくしたり、途中で消火栓を立ち上げたりという複合的な事業をしています。基本的には都市計画課の国交省補助事業として行

っている事業です。その中で、舗装の美装化ということで統一的な舗装をしています。それから街路灯を新たに福光石などを使いながら、景観に合うデザインで設置しています。計画ではあと3年くらいかかると、港側から少しずつ計画的に進めています。

教育長 ありがとうございます。他に質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 それでは審議会委員については議案の通り承認するということにいたします。

#### (4) その他

教育長 では、「その他、報告事項」に入ります。まず、平成28年度の12月補正予算教育委員会関係について関係課の方順番にお願いします。

川崎課長 総務課関係の補正予算です。3件あります。1点目は特別支援教育の関係で、来年の4月に新入学する特別支援を必要とする児童・生徒の学級に対する施設整備です。温泉津小には自閉・情緒の特性を持つ子どもさんが入学されるため、現在の教室に間仕切り等をするものです。また、大田一中は、難聴の生徒さんが入学されるため、音の反響を防ぐ、防音といいますが、吸音のための設備工事を行うものです。2点目は学校図書館の関係で、パートの学校図書館司書の方、15名いらっしゃいますが、国民年金法、厚生年金法、健康保険法の法律改正により、10月1日から社会保険に加入することが義務付けられました。このことにより、共済費を補正するものです。3点目は、校舎の施設改修ということで、鳥井小学校の体育館が老朽化により、外壁からコンクリート片の落下が続いている状況です。このため、体育館の周囲の落下防止工事を行うものです。総務課関係の補正予算につきましては以上です。

西村センター長 山村留学センターです。4月に事務職員として再任用の職員が常勤していましたが5月23日に一身上の都合で退職しました。そのことに伴い6月より事務補助の臨時職員の予算を今回お願いしました。以上です。

教育長 今回は総務課と山村留学センターだけです。12月5日から市議会の12月定例会が開催されますので、そこで議案としてあげただけです。よろしくお願いします。一中の吸音工事は、授業によっては吸音工事されていない教室に行かなければならないと思

いますが、それは可能なのですか。

川崎課長 可能だと聞いています。

教育長 日常的にいる教室に吸音工事をしておいて、他の授業で他の教室に行っても授業できるということですね。

川崎課長 はい、そうです。

教育長 温泉津小学校の間仕切りは1つの教室ということですか。自閉・情緒の特性を持つ子どもさんは1人ですか。

川崎課長 はい、そうです。

教育長 他に質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこれについては了承ということに致します。続きまして大田市内県立高等学校支援連携協議会の開催状況について総務課からお願います。

川崎課長 県立高等学校支援連携協議会の開催状況についてご説明いたします。10月3日に第2回目の支援連携協議会を開催し、その際、今後の分科会における協議の視点として、委員の皆様に3点のキーワードを選んでいただきました。このキーワードを念頭におきながら、2校の魅力ある将来像を描くために、それぞれ育てたい生徒像や特色ある教育の取り組みについて各校とも2回の分科会を開催しました。このそれぞれ2回の分科会における協議に基づいて整理をしましたのが本日の資料です。まず、大田高校です。資料の左側が、大田高校の取り組みとする事柄です。大田高校では、育てたい生徒像として、「自ら課題を発見するとともに他者と協働して課題を解決していこうとする生徒」、大田から世界へ、世界から大田へ **Think Global Act Local** と掲げました。主体的に課題解決に向けて取り組む生徒の育成を目標としております。次に、特色ある教育として、学力育成とキャリア教育に取り組むこととしました。まず、学力育成の点では、この地域における進学校としての要請に応えるために、上級学校進学を保障する、いわゆる教科学力の育成を掲げました。これは、上級学校を卒業後、地元に戻って地域を担っていく人材の育成につながる取り組みと考えています。また、学力を基盤とした思考力・判断力・表現力やコミュニケーション力の育成に取り組むこととしております。これは、2のキャリア教育にもつながる点もありますが、こういった力を育むことで、地域を担う人材ばかりでなく、世界に羽ばたく人材の育成にもつながるのではないかと

と考えています。この学力育成の点では、具体的な取り組みとして、岩谷奨学会館の活用と ICT を活用した学力の育成に取り組んでいくこととしております。次にキャリア教育についてです。地域の魅力を発見し、課題を解決する学力と新しいものを創造する学力の2点を掲げ、地域について多様な視点からとらえる力、既習の知識をつないでテーマについて考えを深める力、自分の意見をしっかりと主張する発言力を育成していくこととしております。具体的には、大田市をフィールドとした、地域課題発見学習に新たに取り組むこととしております。情報発信につきましては、オープンキャンパスや学校パンフレット、ホームページなどそこに掲げております7点に取り組むこととしておりますが、特徴的なこととしては、4点目の「つむぎ」です。これは、高校の活動を紙ベースで主に中学生の保護者向けに発信していこうとするものです。生徒数の確保に向けては、中学校説明会以下3点に取り組むこととしております。いずれも、すべての取り組みが直ちに、あるいは平成29年度から行われるということではございませんが、中長期的な取り組みも含めて、今後の大田高校の魅力化に資する取り組みを掲げたものです。次に、資料の右側をご覧ください。こちらは、大田高校の取り組みに対し、どのように連携・支援していくかについて整理をしたものです。予算を伴う事柄もありますので、あくまでも現在検討中の事柄として説明をしたところです。まず、特色ある教育の学力育成の取り組みについてです。島根県には、ICT を活用した教育環境の整備を担っていただきたいと考えております。そのうえで、大田市としては、幼保小中高連携を念頭におきながら、小中学校で開催しております学力育成担当者会への高校の教職員の参加、あるいは仮称ではありますが、小中高連携協議会を設置し、課題や指導方法の情報共有や学力育成に向けた協議を進めていきたいと考えています。また、大田市教育委員会のこれまでの取り組みとして、学校図書館を活用した読書活動を推進してきておりますので、これを大田高校とも連携しながら、更に推進していきたいと考えておりますが、具体的に、今後どのような連携が図れるのか協議が必要と考えております。次に、岩谷奨学会館を活用した学力の育成ということで、この岩谷奨学会館を学力育成拠点としての機能強化を図っていくことが必要なのではないかと考えておまして、今後、大田高校と協議をしながら具体的な方法を検討していくこととしております。特色ある教育

の2点目、キャリア教育についてです。一つは、地域の魅力を発見し、課題を解決する学力の点では、大田市として、高校魅力化コーディネーターによる企画協力や情報提供、調整事務等で連携・支援をしてまいりたいと考えております。また、中高のキャリア教育担当者間の情報共有の場の提供、活動に係る生徒の移動手段の確保、キャリア教育に関する講演会の開催などで連携・支援が可能なのではないかと考えております。なお、地域の皆様には、生徒の受け入れ、講話、指導・助言や上級学校卒業後も含め、卒業生の雇用の部分を担っていただきたいと考えております。2点目の、新しいものを創造する学力の点につきましては、市内で起業した方の情報提供や起業家による講演会の開催協力や高校生の国内・国外への留学、夏休み等を利用した短期留学を想定しておりますが、そういう点でも支援できるのではないかと考えております。情報発信につきましては、大田市の支援策として、それぞれ4点について掲げております。4点目の「つむぎ」につきましては、すでに発行を始めております。最後に、生徒数確保についてですが、中学校説明へのコーディネーターの同行、各中学校を通じた保護者への情報発信などを想定しております。また、学校施設等の改善・魅力化では県の方で老朽化しております寮の改修を担っていただければと考えておりましたが、今年度大田市の重点要望として県へお願いしておりますが、引き続き要望してまいりたいと考えております。今後、大田高校の魅力化に資する支援策として、何が必要なのか、事務局内部あるいは高校との更なる協議により進めてまいりたいと考えております。大田高校の取り組みについては以上です。次に、邇摩高校の資料の左側の部分をご覧ください。育てたい生徒像ですが、邇摩高校では、平成26年度に邇摩高等学校活性化プランを策定されており、輝く生徒像として、自らの課題と目標を設定し、「自己実現に向けて主体的に取り組める生徒」、「地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域に貢献しようという志を持つ生徒」、「自他共に尊重し、思いやりをもってより良い人間関係を築こうとする生徒」を掲げられました。そこで、今回の魅力化推進事業においても、育てたい生徒像として活性化プランに掲げられた生徒像を位置づけたところです。次に、特色ある教育についてです。最初に、地域から学び地域に貢献できる人材の育成を掲げました。取り組み内容としましては、邇摩高フェアを地域の課題を調査し、それらを解決する活動を基にしたフェアを



実施することで銀の哲学の充実を図ること。2点目として、地域を拠点とするキャリア教育の充実を図るということで、地域の資源であるひと・もの・ことを活用し、地域に愛着と誇りを持つ生徒の育成を図る、また、系列ごとの専門知識・技術を地域の達人を意味する地域マイスターから習得していくこととしました。3点目は、課題研究の充実を図り、地域における課題の解決に向け、主体的に取り組む生徒の育成を図ることとしております。4点目、アンバサダー事業、高校生が行う出前授業について、中学校で紹介・披露の機会を増やすことで、邇摩高校の取り組みと魅力の周知を図ることとしております。5点目として、地域系部活動ということで、神楽同好会の発足により、地域の伝統文化の担い手の育成に取り組めます。最後6点目として、山陰道仁摩インターチェンジ付近に設置予定の道の駅を、総合的な学習の中でどう位置づけるか、検討していくことを掲げたところです。次に、特別支援教育の推進を特色ある教育の柱の一つに位置づけました。今年で3年目となる「特別支援教育充実事業」の取り組みに基づき、高校における先導的な取り組みを今後も推進していくこととしております。この中では、個別支援体制の構築や、一斉授業の実施にあたりICTの活用、ユニバーサルデザインの視点を活かした学力の育成に取り組むこととしております。情報発信につきましては、オープンキャンパスの工夫、学校案内パンフレットの工夫、学校紹介DVD、ホームページ、フェイスブックの工夫に取り組むこととしております。また、生徒数確保の観点からは、中学校説明会において以下3点に取り組むこととしました。邇摩高校につきましても、すべての取り組みが直ちに、あるいは平成29年度から行われるということではございませんが、中長期的な取り組みも含めて、今後の邇摩高校の魅力化に資する取り組みを掲げたものです。次に資料の右側、邇摩高校に対する連携・支援についてです。特色ある教育の1点目、地域から学び地域に貢献できる人材の育成につきましては、邇摩高フェアの充実、キャリア教育の取り組みについて、コーディネーターを中心とした企画・運営協力や中高のキャリア教育担当者間の情報共有、生徒の移動手段の確保や国内・国外の短期留学支援などを想定しております。また、地域の皆様にはフェアへの協力、あるいはインターンシップの受け入れ、指導、上級学校も含めて、卒業生の雇用や、地域マイスターとしての講師役として支援をいただきたいと考えております。課題研

究の充実につきましては、市の方では情報提供、地域では課題研究の取り組みに対する実際の取り組み状況や解決の方法などについての助言などの役割を担っていただきたいと考えています。アンバサダー事業につきましては、小中学校の校長会など情報提供の場を設けたいと考えております。また、神楽同好会につきましては、指導者の情報提供や調整等を想定しているところです。道の駅の総合的な学習への位置づけにつきましては、邇摩高校が道の駅を活用して取り組む活動内容についての連携を想定しています。次に、特別支援教育の推進についてです。島根県においては、引き続きモデル事業研究校として取り組めるよう指定をお願いしたいと考えております。市としては、小中学校での特別支援教育を邇摩高校へつないでいくことが重要であり、情報の引き継ぎや共有が図れるよう取り組んでいきたいと考えております。また、特別支援教育に関わる小中高の担当教職員による交流・連携体制を構築することにより、小中学校の取り組みにも活かしていけるのではないかと考えております。次に、一斉授業の工夫・改善についてです。島根県においては、ICTの活用やユニバーサルデザインの視点を活かした学習環境の整備についてご協力いただきたいと考えております。大田市としては、県とともに学習環境の整備や小中学校の教職員に対するインクルーシブ教育の構築のための指導力の育成に向け、研修会の実施などに取り組みたいと考えております。また、大田高校と同様に、小中高連携協議会、仮称ですけれども、これの設置による情報共有・学力育成に向けた協議を進める事柄につきましては、邇摩高校においては、一斉授業の工夫・改善への連携策の一つとして位置づけました。情報発信につきましては、お読み取りいただきたいと思っております。最後に生徒数の確保です。島根県における老朽化施設の改修整備など、大田高校と同様の支援策が想定できるのではないかと考えております。以上が県立高校の支援連携協議会の開催状況になります。

教 育 長 大田市内県立高等学校支援連携協議会の開催状況の説明については以上とします。続きまして温泉津会館の指定管理者の指定について社会教育課の方からお願いします。

川島課長 では社会教育課の方から温泉津会館の指定管理者の指定について説明致します。議案第301号で12月議会に提出するものです。3頁をご覧ください。施設の名称は温泉津会館です。施設の所在地は大田市温泉津町温泉津口180番地です。施設の概要としては鉄

筋の瓦葺2階建てで延床面積206.86㎡です。指定管理者となる団体は温泉津会館協議会です。指定の期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間です。以上です。

教育長 もう少しどこにあって、どのようなことに使われているのか説明してください。

川島課長 温泉津の温泉街のほぼ中央にあります。その周辺地域12自治会231戸がこの温泉津会館を利用しておられます。主な利用の状況は教養講座や生涯学習の活動、各自治会の会議や健康体操、囲碁の愛好会などが定期的に使用しておられます。今回使用の実態が地域の限定型であるということで選定という形で指定管理にあたっています。これまで5年間の指定管理が2回終わっています。今回が11年目、5年間の3順目になります。

教育長 質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 それでは了承ということに致します。1点追加があります。以前から学校長着任の歓迎会、忘年会や学校訪問だけでは校長や学校の詳細がよく見えないということで、また教育委員会制度も活性化したいということでいろいろ考えていましたが、12月26日13時半から教育委員、学校長、公民館長の合同研修と意見交換会をしたいと思います。もう1つには、子ども議会を開催するのはどうかと考えています。子ども議会、女性議会、青年議会という事柄についても、もう1つ課題がありますので、今回は議会の様々な部屋を使わせていただいて、この研修と意見交換会をもたせていただきたいと思っています。午後1時半から2時半までは全員協議会室で世界遺産学習の件、あるいはESDに関して、こういった事柄について研修会をしたいと思います。そのあと分科会に教育委員の皆さんに別れていただいて、中学校の分科会、小学校の分科会、公民館の分科会ということで、石見銀山学習、ふるさと教育とESDについてと教育ビジョンの基本計画、この2つについて意見交換を持たしてもらいたいと考えています。分科会の後、本会議場で議員席、執行部席を使って、校長、教育委員、公民館長、教育委員会の職員で本会議場を使って、学校紹介や分科会での意見についての報告などをし、議場がどのようになっているか見てもらいます。意見交換会、研修と共に市議会の仕組みについても、校長先生方に実地研修していただいて、この後子ども議会を開催するとすれば、ど

のような課題があるのかなどを考えてもらう機会にもしたいと思います。時間割や内容についてはまだ事務局の方で詳細を詰めていませんので、12月26日の午後1時半から4時半くらいまでのところで、各校長先生方とも意見交換をしたいと考えています。よろしくをお願いします。報告事項は以上ですが、事務局の方で何かありますか。

事務局 ありません。

教育長 それでは、議題等は全て終了致しました。来月の教育委員会は12月21日水曜日午後2時からです。よろしくお願いいたします。

#### 7. 閉会

教育長 以上をもちまして、第11回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。

—